

2016年3月期
ワログループ
決算説明会

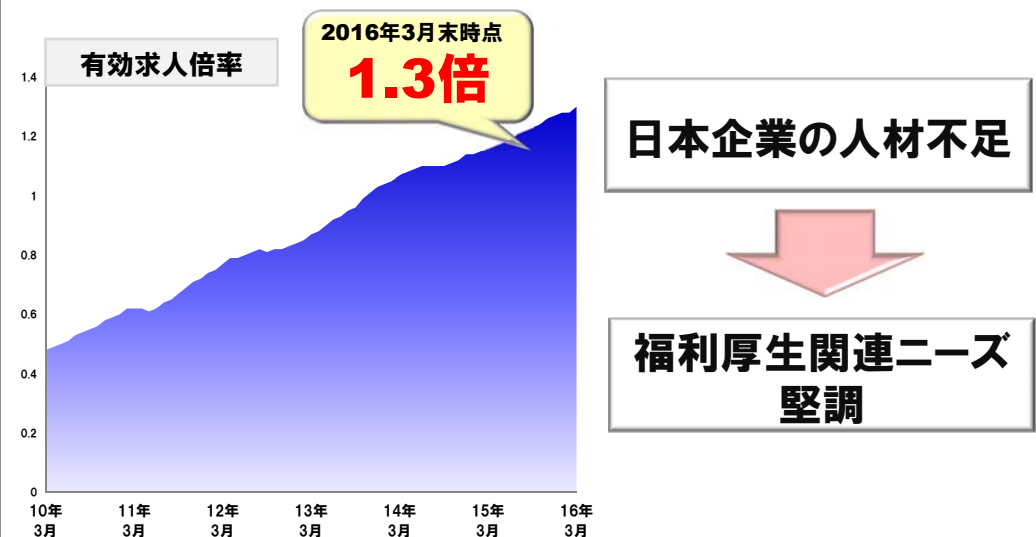
2016年6月3日

項目	スライドNO.
◆ 連結業績	3
◆ セグメント別業績	10
国内セグメント	10
海外セグメント	24
◆ 2017年3月期計画	33
◆ 参考資料	36

連結業績

① **16期連続 増収**

② **7期連続 最高益更新**



連結業績概要

(百万円未満切捨)

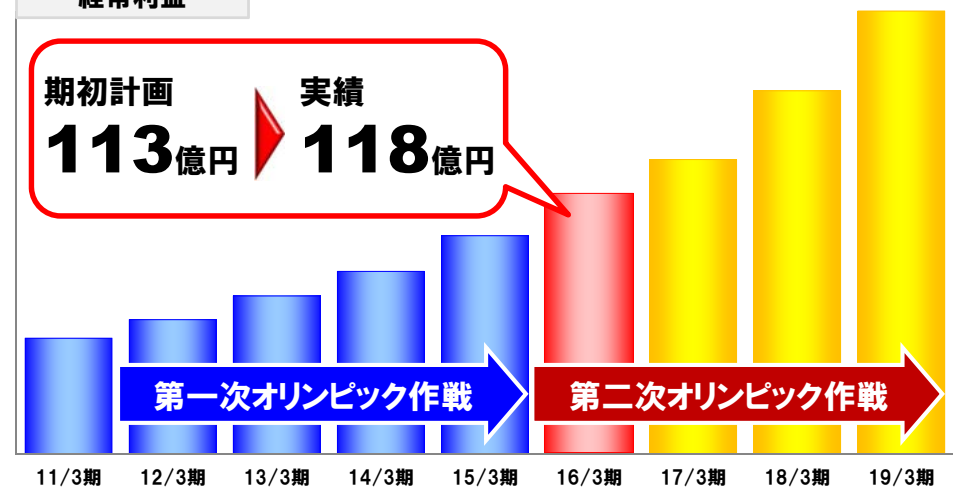
	16/3期 実績	15/3期 実績	前期比
売上高	183,280	160,050	+ 14.5%
営業利益	10,840	8,746	+ 23.9%
経常利益	11,854	9,863	+ 20.2%
当期純利益	7,158	6,085	+ 17.6%
EPS(円)	492.64	413.15	+ 19.2%

6

連結業績推移

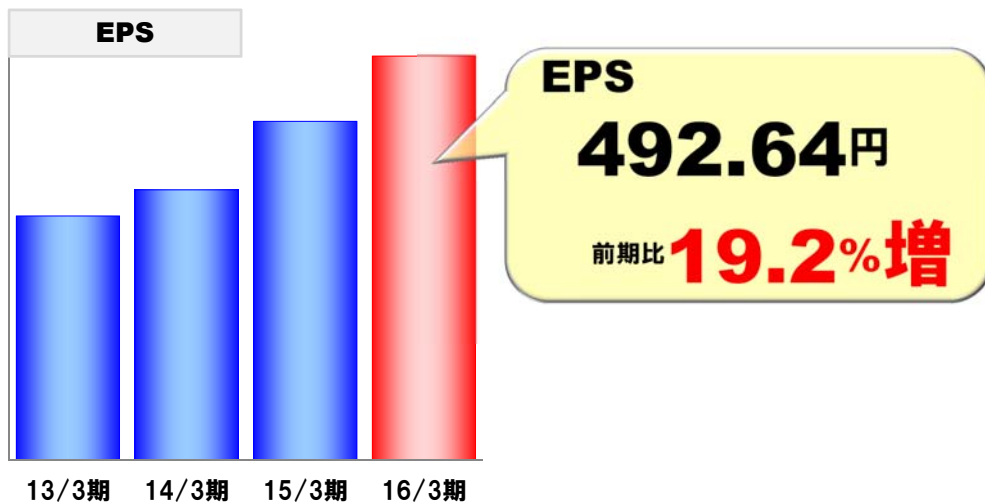
経常利益

期初計画 **113**億円 → 実績 **118**億円



7

EPS



8

配当

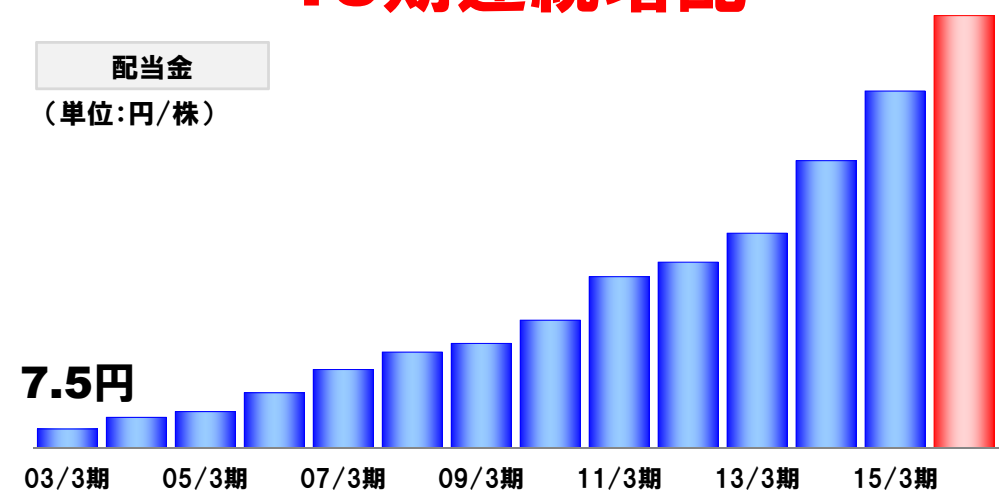
13期連続増配

150円

配当金

(単位:円/株)

7.5円

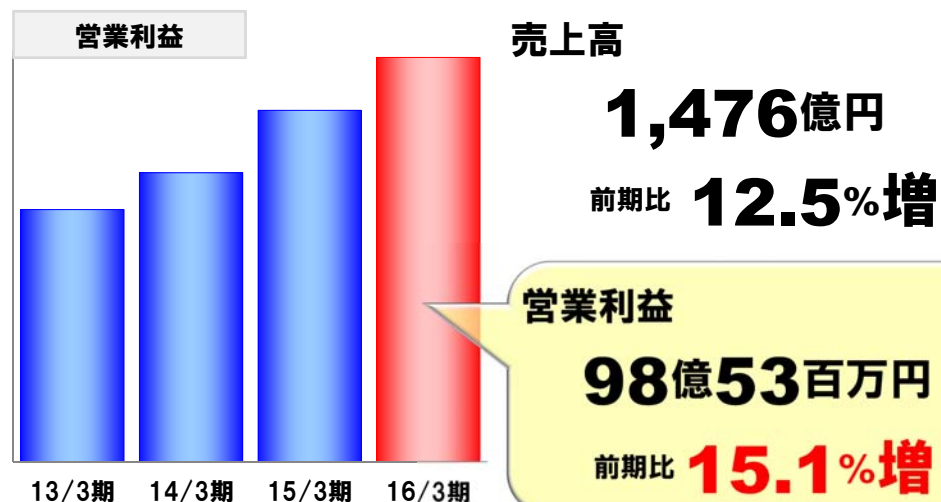


9

セグメント別業績 国内セグメント

10

国内セグメント 業績



11

国内セグメント

社宅管理事業



賃貸管理事業

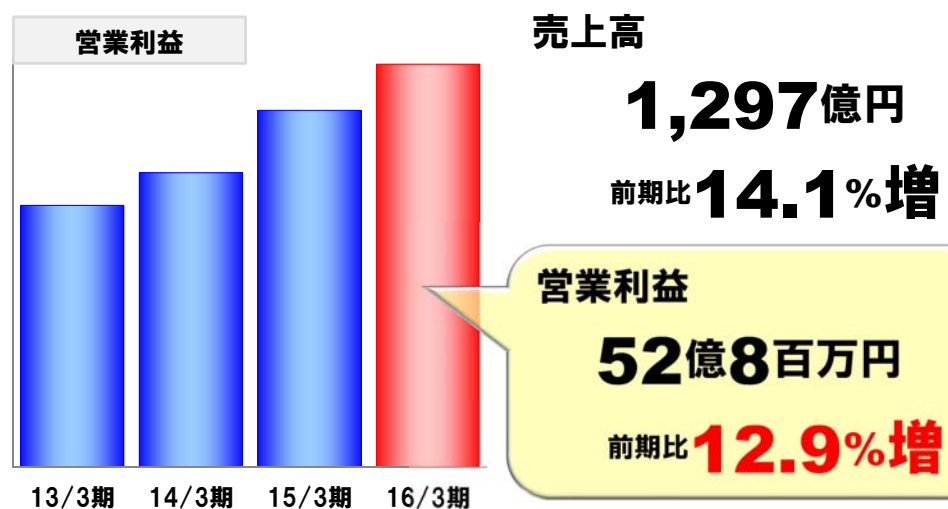


福利厚生事業



12

国内リロケーション事業 業績



※(旧)国内リロケーション事業セグメント

13

社宅管理事業

社宅管理戸数



新規獲得が好調

競争力の高い
「ミドルレンジ商品」

+

転貸方式による
「マイナンバー対応」

社宅管理事業

企業： 独身寮の確保

ニーズのマッチング

投資家： 収益物件の確保
地主： 土地の有効活用

主力事業に寄与



賃貸管理事業

賃貸管理事業

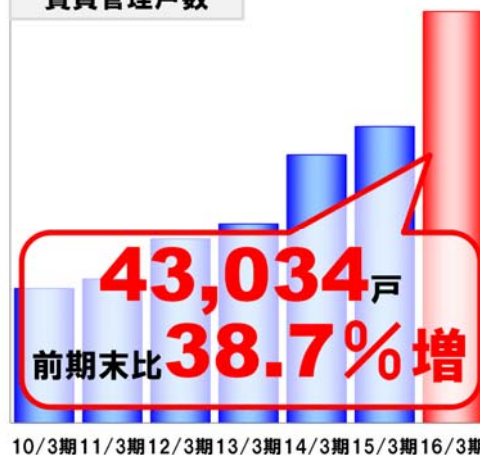
2011年3月期

営業利益 約 **4億円**

2016年3月期

営業利益 約 **17億円**

賃貸管理戸数



賃貸管理事業

2016年3月期
3社がグループ入り

大興グループ



ルームグループ



吉田不動産



賃貸管理事業

首都圏 賃貸管理ネットワーク拡大

埼玉: 大興

東京: 東都

千葉: 吉田不動産

神奈川: ベスタス

吉田不動産株式会社

エリア	市川・船橋
業歴	30年以上
管理戸数	2,100戸

賃貸管理事業

(株)リロ・ホールディング

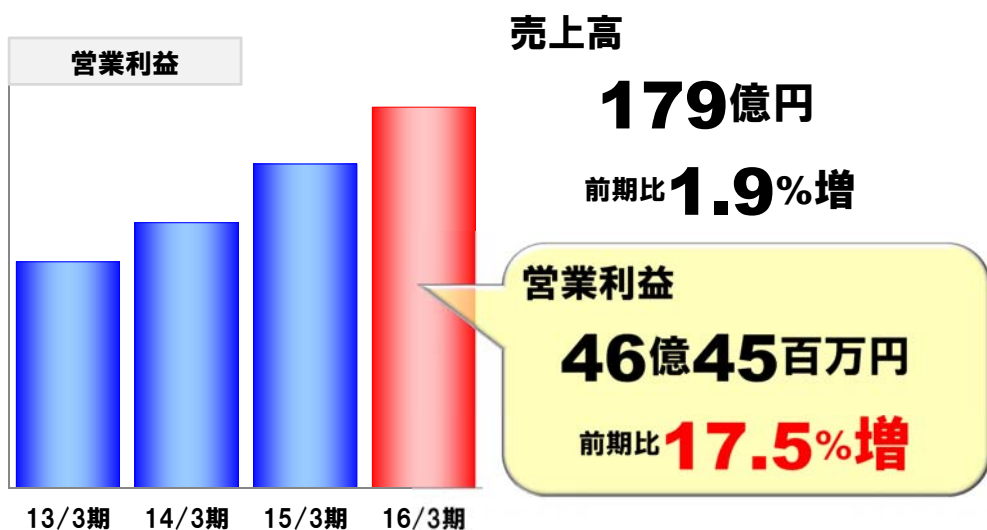
(株)リロパートナーズ



<役割>

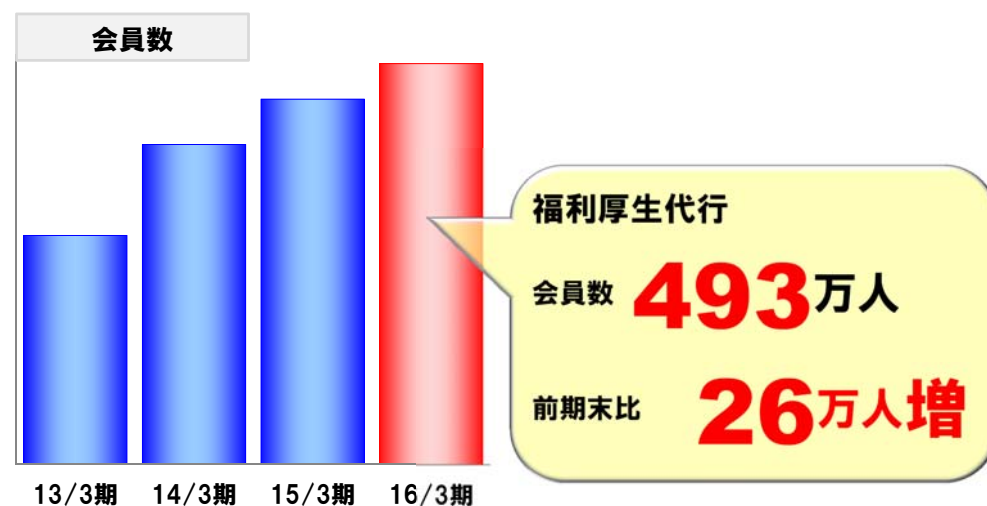
- ・ノウハウの共有
- ・システム共通化
- ・人材の活用

福利厚生事業 業績



※(旧)福利厚生事業セグメント

福利厚生事業 会員数



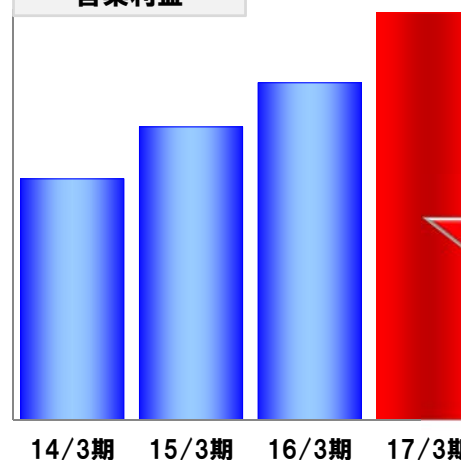
福利厚生事業 利用状況

メルマガ購読者数



国内セグメント 2017年3月期計画

営業利益



売上高

1,660億円

前期比 **12.4%増**

営業利益

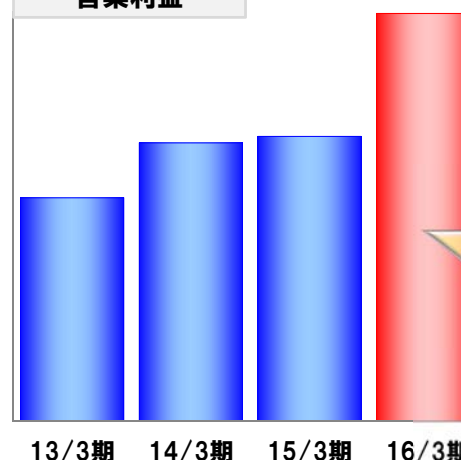
119億円

前期比 **20.8%増**

セグメント別業績 海外セグメント

海外セグメント 業績

営業利益



売上高

321億円

前期比 **24.9%増**

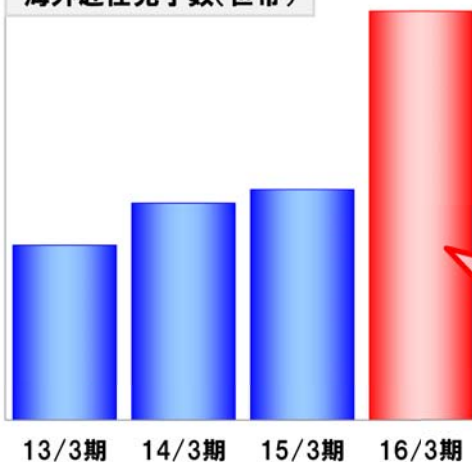
営業利益

20億87百万円

前期比 **43.2%増**

海外赴任サポート事業

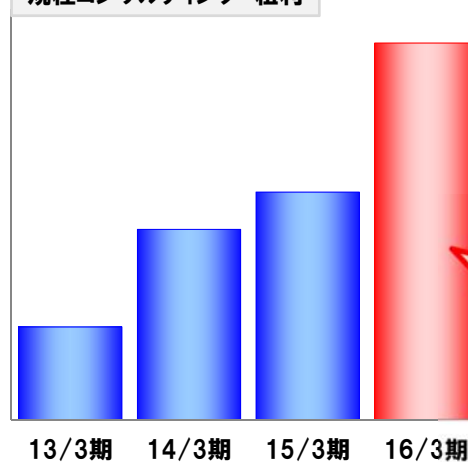
海外赴任完了数(世帯)



5,177 世帯
前期末比 **77.1%増**

海外赴任サポート事業

規程コンサルティング 粗利



50 百万円
前期比 **65.5%増**

海外現地サポート事業

Torrance

会議室利用

健康診断パッケージ

REDAC GATEWAY HOTEL

海外現地サポート事業

REDAC GATEWAY HOTEL
Redac Gateway Hotel in Torrance

リノベーション完成披露パーティー

海外現地サポート事業



Relo Redac, Inc. **30周年** **REDAC** リダック

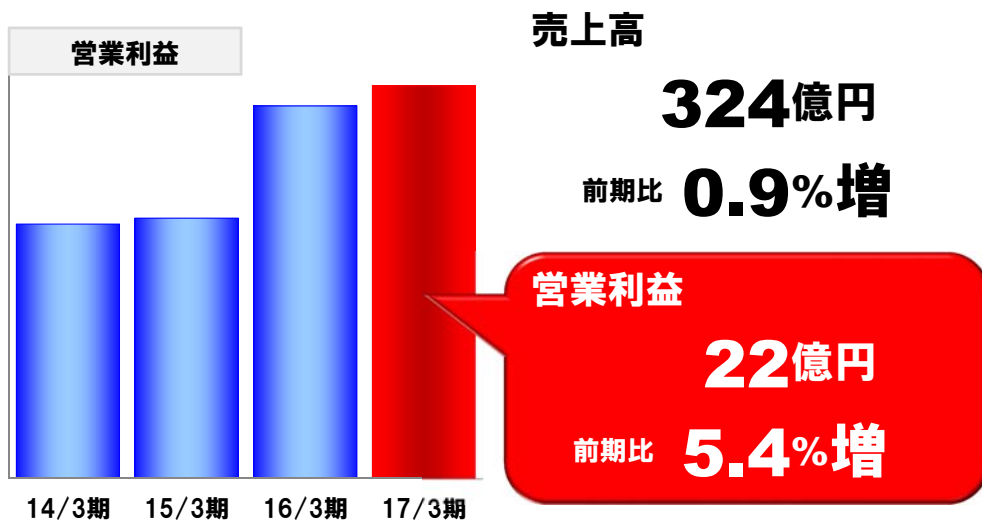
海外現地サポート事業

住宅斡旋件数 **1,832件** 前期比 **10.4%増**

社宅管理戸数 **2,564戸** 前期比 **18.8%増**



海外セグメント 2017年3月期計画



2017年3月期 計画

2017年3月期 連結業績計画

(百万円未満切捨)

	16/3期 実績	17/3期 計画	前期比
売上高	183,280	202,000	+10.2%
営業利益	10,840	13,000	+19.9%
経常利益	11,854	13,800	+16.4%
当期純利益	7,158	8,200	+14.6%
EPS(円)	492.64	550.30	+11.7%
1株当たり 年間配当金(円)	150	170	+20円

2017年3月期 セグメント別業績

(百万円未満切捨)

	売上高			営業利益		
	17/3期 計画	16/3期 実績	前期比	17/3期 計画	16/3期 実績	前期比
国内事業	166,000	147,678	+12.4%	11,900	9,853	+20.8%
海外事業	32,450	32,146	+0.9%	2,200	2,087	+5.4%
その他の事業	3,550	3,455	+2.7%	600	598	+0.2%
連結消去	-	-	-	▲ 1,700	▲ 1,699	-
連結	202,000	183,280	+10.2%	13,000	10,840	+19.9%

参考資料

2016年3月期末 連結BS

資産の部				負債・純資産の部			
	16/03期	15/03期	増減		16/03期	15/03期	増減
流動資産合計	46,445	36,419	+10,027	流動負債合計	35,582	28,740	+6,842
現金及び預金	12,928	11,001	+1,926	買掛金	3,295	3,256	+39
受取手形及び売掛金	10,479	9,388	+1,091	短期借入金	7,468	4,583	+2,885
有価証券	0	223	▲ 223	1年内返済予定の長期借入金	1,255	1,123	+132
販売用不動産	5,321	1,860	+3,460	未払法人税等	2,096	1,905	+190
貯蔵品	393	331	+62	前受金	13,808	11,479	+2,329
前渡金	10,647	8,532	+2,115	賞与引当金	645	609	+36
その他	6,701	5,104	+1,597	その他	7,012	5,782	+1,230
貸倒引当金	▲ 25	▲ 23	▲ 2	固定負債合計	14,357	10,424	+3,932
固定資産合計	36,953	34,100	+2,853	長期借入金	5,801	4,623	+1,178
有形固定資産合計	6,183	6,158	+25	長期預り敷金	5,608	5,222	+386
建物(純額)	3,446	3,433	+14	社債	2,400	0	+2,400
建物	5,675	5,613	+62	退職給付に係る負債	265	255	+10
減価償却累計額	▲ 2,229	▲ 2,180	▲ 48	債務保証損失引当金	62	66	▲ 3
工具・器具及び備品(純額)	408	348	+60	負のれん	2	3	▲ 1
工具・器具及び備品	1,471	1,293	+177	その他	215	252	▲ 36
減価償却累計額	▲ 1,062	▲ 945	▲ 117	負債合計	49,939	39,164	+10,774
土地	2,103	2,170	▲ 67	純資産合計	33,475	31,355	+2,120
その他	224	206	+18	株主資本合計	32,682	30,437	+2,245
無形固定資産合計	8,468	7,063	+1,405	資本金	2,667	2,667	+0
ソフトウェア	1,173	1,284	▲ 110	資本剰余金	2,871	2,859	+12
のれん	7,070	5,720	+1,350	利益剰余金	30,421	27,108	+3,313
その他	224	58	+165	自己株式	▲ 3,278	▲ 2,197	▲ 1,080
投資その他の資産合計	22,301	20,878	+1,423	その他の包括利益累計額合計	587	495	+108
投資有価証券	9,644	8,946	+698	その他の有価証券評価差額金	282	273	+10
敷金及び保証金	10,543	9,760	+783	為替換算調整勘定	112	235	▲ 124
その他	2,264	2,408	▲ 144	退職給付に係る調整累計額	▲ 7	▲ 13	+6
貸倒引当金	▲ 151	▲ 236	+85	新株予約権	71	127	▲ 56
繰延資産合計	15	0	+15	非支配株主持分	334	294	+39
社債発行費	15	0	+15				
資産合計	83,414	70,520	+12,895	負債純資産合計	83,414	70,520	+12,895

2016年3月期末 連結CF

連結キャッシュ・フロー

	16/03期	15/03期	増減
営業キャッシュ・フロー	3,993	6,576	▲ 2,583
税金等調整前当期(四半期)純利益	11,172	9,338	+1,834
減価償却費	813	742	+71
減損損失	595	324	+271
のれん償却額	537	356	+181
持分法による投資損益(△は益)	▲ 973	▲ 927	▲ 46
売上債権の増減額(△は増加)	1,360	▲ 104	+1,464
棚卸資産の増減額(△は増加)	▲ 1,474	▲ 96	+1,378
仕入債務の増減額	▲ 2,257	▲ 740	+1,517
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	▲ 780	▲ 657	▲ 123
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	245	450	▲ 205
利息及び配当金の受取額	349	420	▲ 71
法人税等の支払額	▲ 3,844	▲ 2,576	+1,268
その他	▲ 1,750	46	+1,796
投資キャッシュ・フロー	▲ 4,381	▲ 4,650	+269
有形固定資産の取得による支出	▲ 2,620	▲ 1,488	+1,132
有形固定資産の売却による収入	6	14	▲ 8
ソフトウェアの取得による支出	▲ 298	▲ 318	+20
投資有価証券の売却による収入	114	137	▲ 23
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	▲ 1,475	▲ 2,759	+1,284
その他	▲ 108	▲ 236	+128
財務キャッシュ・フロー	2,634	▲ 178	+2,812
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,814	2,271	+543
長期借入による収入	2,884	4,300	▲ 1,416
長期借入金の返済による支出	▲ 1,643	▲ 4,499	+2,856
自己株式の取得による支出	▲ 3,785	▲ 873	+2,912
自己株式の処分による収入	1,241	143	+1,098
配当金の支払額	▲ 1,855	▲ 1,500	▲ 355
その他	2,978	▲ 20	+2,998
現金及び現金同等物期末(四半期末)残高	12,828	11,041	+1,787



2016年3月期
リロググループ
決算説明会

2016年6月3日

創業50周年

創業50周年

50周年を機に社名変更

株式会社 **リロ・ホールディング**



株式会社 **リログループ**

第50期

「第二の創業」前半戦12年間



5年間の環境変化・経験をもとに
使命・ビジョン実現に向けた新体制発足

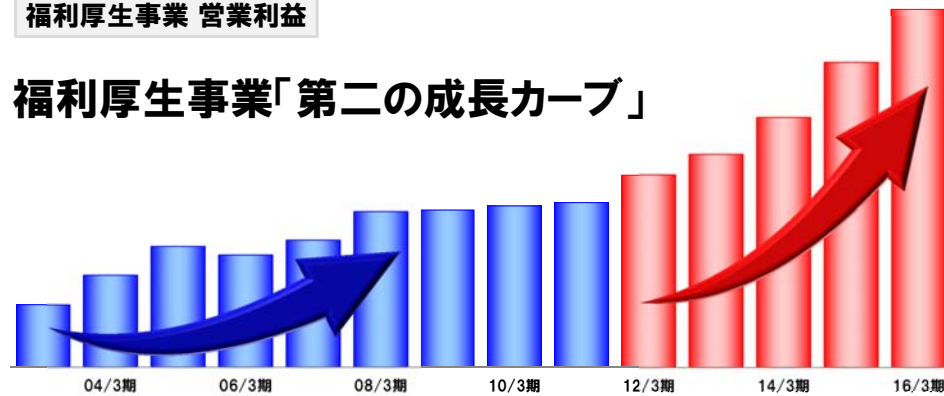
「第二の創業」5年間の成果

主力事業においては
引き続き**シェア**を拡大

「第二の創業」5年間の成果

福利厚生事業 営業利益

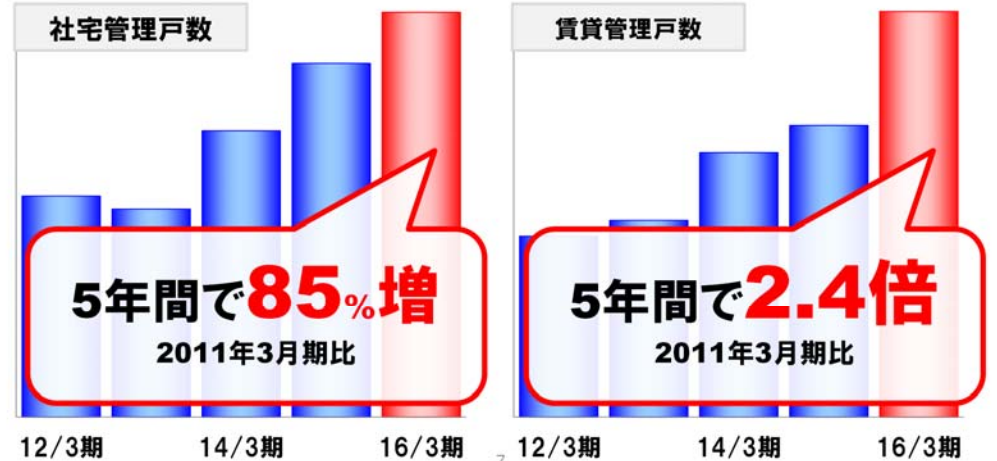
福利厚生事業「第二の成長カーブ」



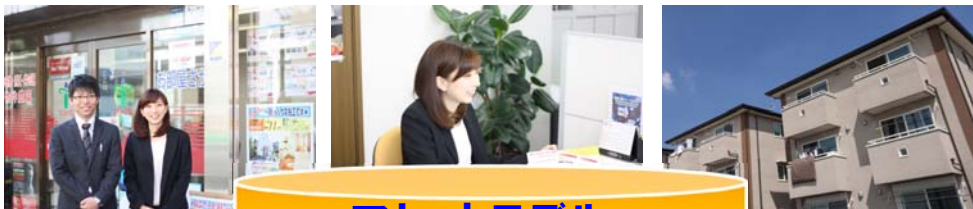
ノウハウを横展開し、
利益規模 & 市場シェアNo. 1を狙う

「第二の創業」5年間の成果

管理戸数を着実に積み上げ



「第二の創業」5年間の成果



アセットモデル:
賃貸物件の売買による
フロー収益

東都モデル:
管理戸数積み上げによるストック収益

「第二の創業」5年間の成果

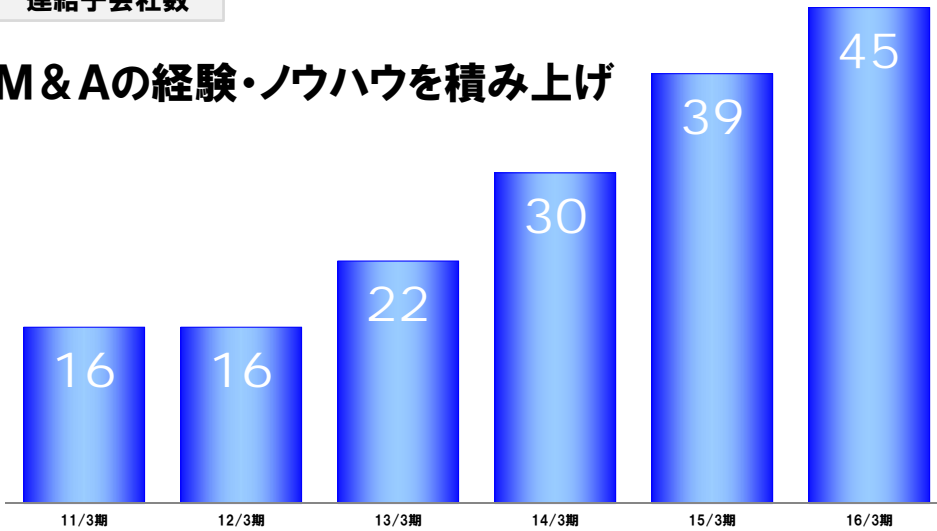


主力事業の**集客力**を活用し
周辺事業を立ち上げ

「第二の創業」5年間の成果

連結子会社数

M&Aの経験・ノウハウを積み上げ



10

グローバル展開

5年間の環境変化・経験をもとに
戦略の一部を軌道修正

11

これまでのグローバル展開



12

環境変化

日本企業のグローバル展開に変化

単なる拠点展開



グローバルカンパニーを
M&Aによりグループ化

グローバル・リロケーション カンパニーへの
外注化が進む

13

これまでのグローバル展開



これまでのグローバル展開

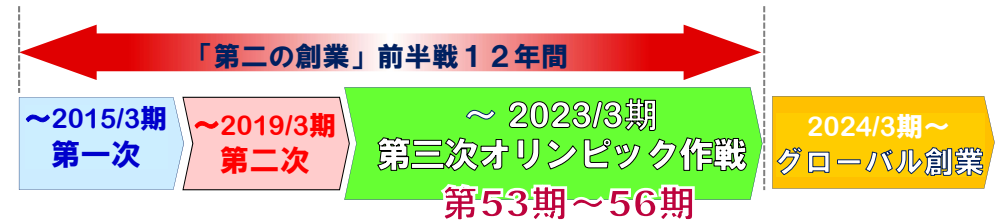


今後のグローバル展開

- 使命**
- ◆ **本業以外の業務をサポート**
 - ◆ **日本企業の世界展開を支援**
 - ◆ **日本の大転換に不可欠な存在**

**使命・ビジョンの実現には
新興市場への展開は必須**

今後のグローバル展開



**第三次オリンピック作戦中に
グローバル・カンパニーへの
挑戦を開始**



**第二次オリンピック作戦では
国内経営基盤強化
利益規模 & 市場シェアNo. 1**

- 「**日本人のみ**」ではなく
グローバル・カンパニー全体をサポート
- その新興市場への展開を活用し
日本企業を強力にバックアップ

**国内経営基盤の強化
世界展開への準備**

国内経営基盤強化

最重要課題

主力事業

利益規模 & 市場シェアNo. 1

- 福利厚生の総合サポート機能強化
複数サービス導入企業倍増に注力
- 福利厚生事業の好循環を横展開
「第二の成長カーブ」サイクルを実践
- 主力事業に貢献するM&A推進
顧客開拓や囲い込みに積極投資

福利厚生の総合サポート機能強化

主力事業の顧客重複度合向上

福利厚生代行サービス



借上社宅管理サービス



留守宅管理サービス



海外赴任業務支援サービス



福利厚生の総合サポート機能強化

主力事業の顧客重複度合向上

借上社宅管理

福利厚生代行

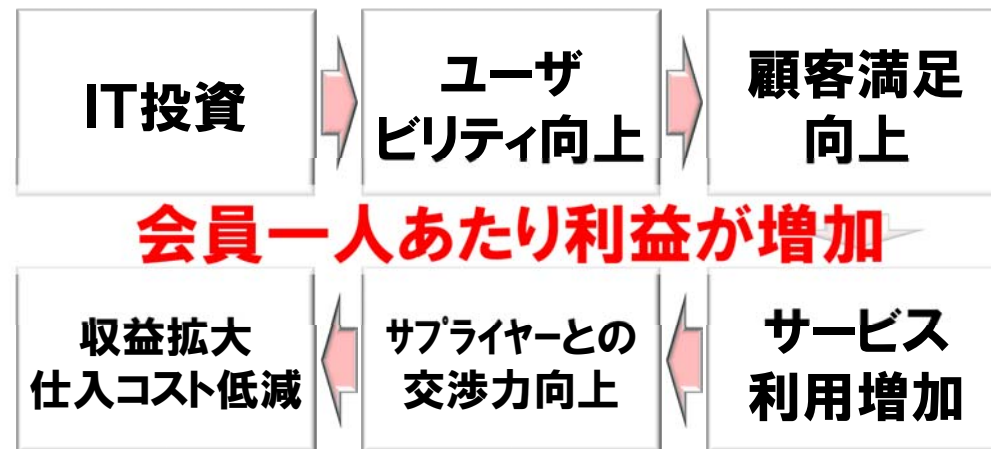


グループ全体で
主力サービス複数導入企業を増やす

国内経営基盤の強化

- ・福利厚生の総合サポート機能強化
複数サービス導入企業倍増に注力
- ・福利厚生事業の好循環を横展開
「第二の成長カーブ」サイクルを実践
- ・主力事業に貢献するM&A推進
顧客開拓や困り込みに積極投資

「第二の成長カーブ」横展開



「第二の成長カーブ」の活用

さらなる**利用増加**で
 サプライヤーへの**交渉力が高まる**

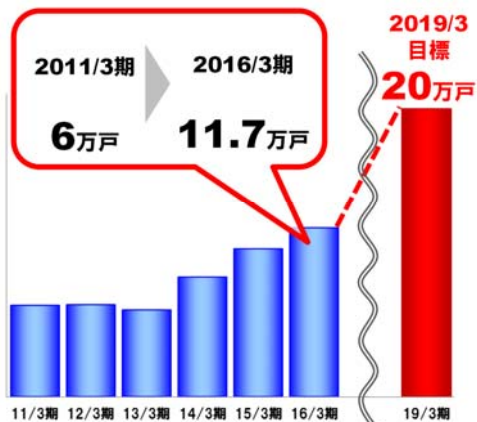
戦略的に利用を増やし
 価格自由度を向上

「第二の成長カーブ」の活用



「第二の成長カーブ」横展開

社宅管理戸数



RJ借上社宅管理事業

「ミドルレンジ商品」で
シェア拡大

IT投資を実施
「第二の成長カーブ」を
創る

国内経営基盤の強化

- 福利厚生 of 総合サポート機能強化
複数サービス導入企業倍増に注力
- 福利厚生事業の好循環を横展開
「第二の成長カーブ」サイクルを実践
- 主力事業に貢献するM&A推進
顧客開拓や囲い込みに積極投資

主力事業に貢献するM&A推進

日本では業界内での競争が
多く、利益率が低い



世界で戦うためには
本業に集中特化が必要

業界再編を促し
規模拡大・収益性向上を図る

主力事業に貢献するM&A推進

本業に寄与する事業への投資

- **主力事業の集客**
- **顧客との関係構築**

などに貢献する事業に投資

本業に寄与する事業への投資



必要とされている
ニーズ商品で
信頼関係構築

×

高付加価値
サービス
制度導入へ

世界展開の準備

世界展開の準備



グローバルカンパニーを運営する
ノウハウの蓄積

パートナーシップ経営

2011年6月ESOP開始
 株価は5年で10倍



「第二の創業」5年間

営業情報の共有・プロジェクトの成功

業績向上・企業価値向上

パートナーの繁栄

役員・従業員が経験

今後の成長の武器になる

成功の決め手

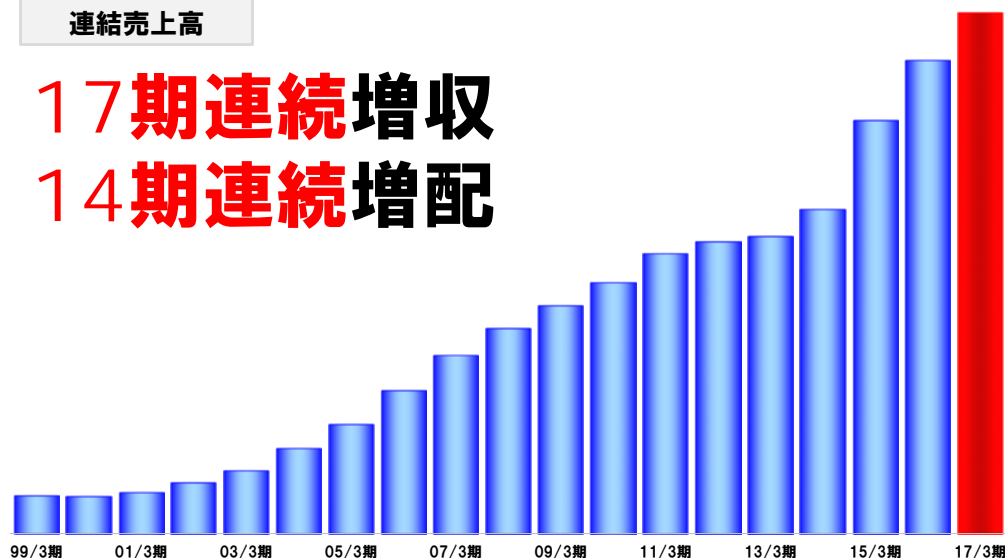
- ① 経営陣が使命とビジョンに
強くコミットする
- ② 高い目標を掲げ続ける
- ③ 企業価値向上の
選択を継続する

株式会社 **リロググループ**

全員がリロググループの
 持ち主 = 株主

連結売上高

17期連続増収
14期連続増配



ご連絡先

(株)リロ・ホールディング 企画IRグループ

TEL: 03-5312-8704

E-Mail: ir@relo.jp

URL : <http://www.relo.jp/>

本資料は、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。
また、本資料は2016年6月現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。